

調書番号	06-02	所管部	農政部	基準年月日	令和4年8月1日
				作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長 岩田 正敏
				担当係	畑地整備係（内線）27-572

I 基本事項

事業種別	道営土地改良事業費（水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地帯担い手育成型））	地区名	訓子府北西	市町村名	訓子府町
------	--	-----	-------	------	------

事業目的・目標

- 本事業により、用水路、区画整理、暗渠排水、客土、農用地造成の整備を総合的に行うことにより、畑作物の生産振興及び畑作経営の安定化を図る。
- 地域農業をささえる担い手農家へ農用地の利用集積を図り、安定した農業経営の確立を目指す。
- 本事業の実施により「安全・安心な食の生産をささえる」優良農地の確保を図る。

事業概要

本地区は小麦、ばれいしょ、てんさい、玉ねぎを基幹作物とする大規模畑作地帯であり、小麦の収穫では共同作業が行われている地域である。地区内では、近年の降雨量増加に伴う湿害などの発生により、生産性の低下、効率的な営農の支障となっているため、区画整理、暗渠排水、客土、農用地造成を行う。また、一部複合経営として水稻が作付けされており用水路の機能低下が著しいことから更新整備を行う。

事業採択	完了	区分	工事費内訳 (百万円)	変更理由・内容	費用対効果 (百万円)		
					便益	費用	B/C
H25 (2013)	H33 (2021)	事前 H23 (2011)	○受益面積 428ha ○受益戸数 59戸 ○整備工種 ・用水路 L=700m 28 ・区画整理 A= 85ha 334 ・暗渠排水 A=285ha 366 ・客土 A=134ha 363 ・農用地造成 A= 13ha 59 ・農地保全 N=3箇所 8 ・測量設計費 123 ・用地費及び補償費 19 計 1,300		便益 4,751	費用 1,327	3.58
H24 (2012)	H33 (2021)	採択 H24 (2012)	○受益面積 435ha ○受益戸数 59戸 ○整備工種 ・用水路 L=663m 48 ・区画整理 A=100ha 319 ・暗渠排水 A=290ha 328 ・客土 A=131ha 247 ・農用地造成 A= 3ha 9 ・測量設計費 105 ・用地費及び補償費 44 計 1,100	●用水路について、精査による事業量の減及び事業費の増。 ●区画整理について、農用地造成からの移行や農地流動化による事業量の増及び精査による事業費の減。 ●暗渠排水について、農地流動化による事業量の増及び精査による事業費の減。 ●客土について、施工区域の精査による事業量の減及び土取り場の位置変更による事業費の減 ●農用地造成及び農地保全について、隣接ほ場と一体的整備を行うため区画整理工種に移行したことによる事業量及び事業費の減	便益 4,377	費用 1,212	3.61
H24 (2012)	R1 (2019)	完了 R1 (2019)	○受益面積 418ha ○受益戸数 61戸 ○整備工種 ・用水路 L=653m 65 ・区画整理 A=145ha 363 ・暗渠排水 A=243ha 298 ・客土 A= 74ha 166 ・農用地造成 A= 2ha 5 ・測量設計費 88 ・用地費及び補償費 11 計 996	●用水路について、河川横断部で重点護岸範囲の追加による事業費の増及び設計精査による事業量の減 ●区画整理について、暗渠排水及び客土を窪地修正と併せ行うため、暗渠排水及び客土から工種移行したことによる事業量及び事業費の増 ●暗渠排水、客土、農用地造成について、受益者の投資計画の見直しに伴う事業量及び事業費の減 ●自然増及び消費税率の上昇による事業費の増 ●整備の取りやめや施工時期前倒しによる事業期間短縮	便益	費用	B/C

II 効果の発現状況

1. 整備後の効果発現

●整備前の課題

- ・現況用水路は未整備（土水路）のため、漏水対応や断面補修などの維持管理に多大な労力を要している。
- ・ほ場の不陸地形（段差・窪地・褶曲等）や排水不良により、生産性の向上や生産コストの低減に支障を来している。

●整備後の改善

- ・土水路をフリーフォーム水路へ改修したことにより、維持管理労力の軽減が図られている。
- ・区画整理や暗渠排水等により不陸地形や排水不良が解消され、大型機械による農作業効率や生産性が向上している。
- ・事業の実施により担い手への農地利用集積率（100%）が維持されている。



未整備（土水路）の用水路



不陸地形や排水不良などにより収量や品質が低下



改修後の用水路



排水不良の解消による営農作業の効率化と農作物の安定生産が図られている

2. 整備施設の管理 ・利用者等への意見聴取

●整備施設の維持管理状況

・整備した用水路は、訓子府土地改良区により定期的な点検や草刈り、土砂上げ等の維持管理が行われており、適切な機能維持が図られている。



(用水路の草刈り作業)



(用水路の土砂上げ作業)

●効果発現に関する利用者等への意見聴取

整備による事業効果について、5名の受益者へ聞き取りを行った結果、主に次のような意見があった。

- ・たまねぎ、ばれいしょ等は特に気象条件の影響を受けやすいため、本事業の実施により降雨後の滞水等による湿害が解消され、生産量(1～2割程度)並びに品質が向上した。
- ・排水性が改善されたほ場では病害が減少し、減肥・減農薬が図られた。
- ・ほ場条件の改善に伴って農作業効率が向上し、営農経費の節減と労働時間(1割程度)の短縮が図られた。
- ・改善意見は特になし

3. 整備における 環境等の影響

●自然環境の影響

・低振動・低騒音の作業機械を使用するとともに、降雨時の施工を極力避け濁水の流出を防止するなど、環境に配慮した施工を行うことで、自然環境への影響は最小限に抑えられている。

●環境保全措置の効果等

・ほ場条件が改善されたことで担い手による農地の有効利用が維持され、耕作放棄地発生防止とそれによる美しい農村景観の維持が図られている。

●その他の影響(生活環境等)

・ほ場条件の改善に伴う労働時間の短縮により、地域の共同活動や会合に参加しやすい環境となった。
・ほ場条件の改善によって農作物の生育が良好かつ均質となり、小麦畑などが良好な農村景観を形成している。

Ⅲ 「効果の発現状況」を踏まえた同種事業に今後活用すべき事項

- ・用水路の改修による維持管理労力の節減。
- ・農地の排水改良による生産性及び作業効率の向上。

Ⅳ 評価

●一次政策評価

・本事業での整備によって生産性や作業効率の向上、維持管理労力の節減が図られているとともに、担い手への農地利用集積率は目標の100%が維持されており、事業効果は十分に発現されている。

評価結果

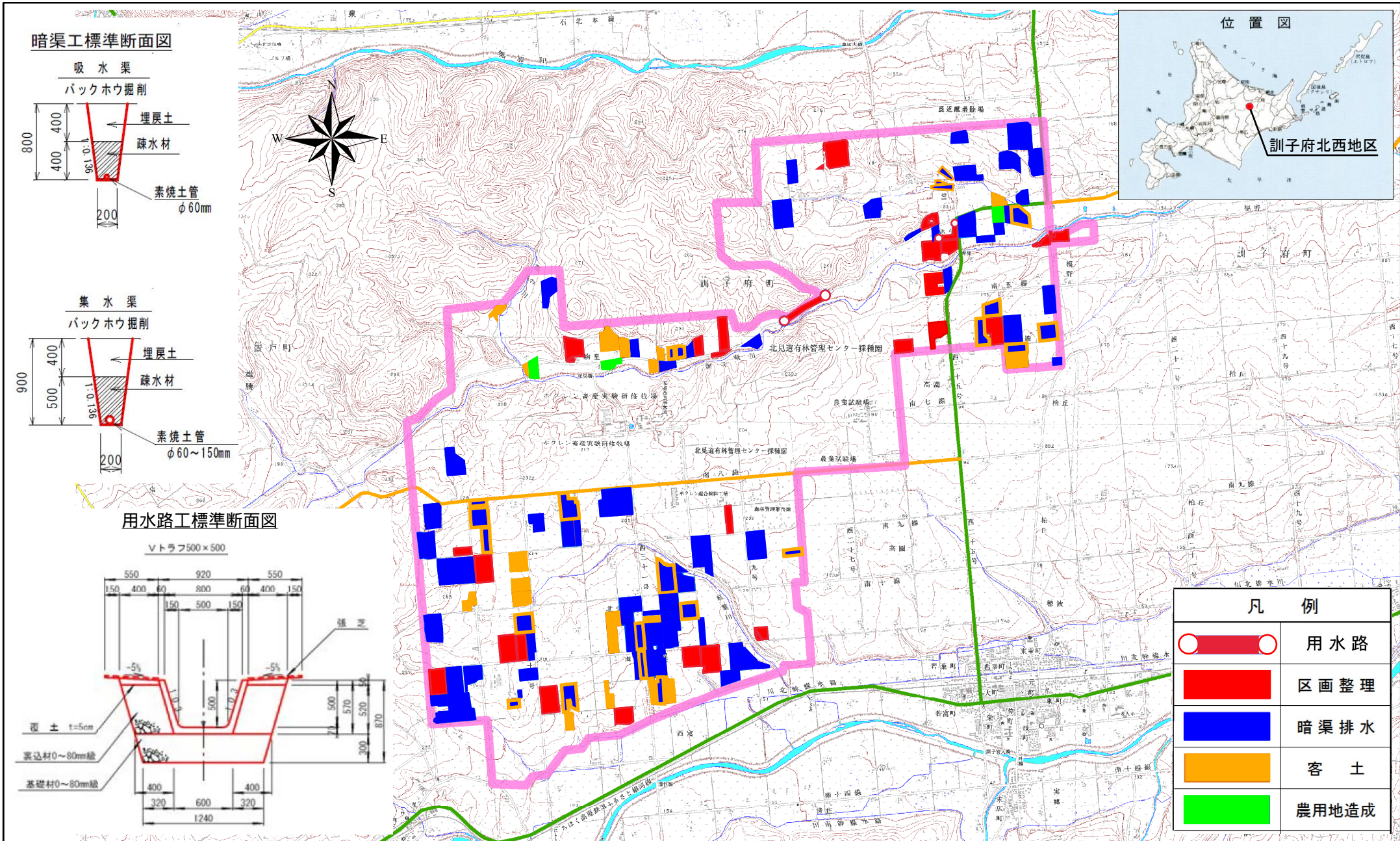
a

a : 効果が発現している b : 効果が一部発現している c : 効果の発現は見られない

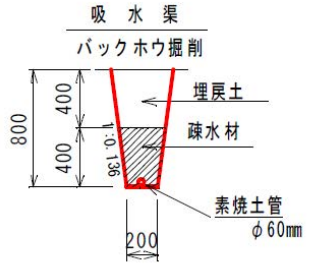
事業概要図

事業名	水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地帯担い手育成型）	地区名	訓子府北西地区
-----	-----------------------------	-----	---------

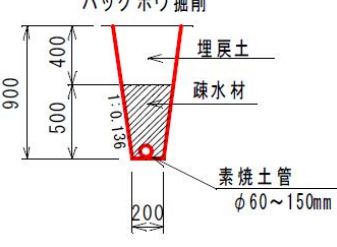
事業地区位置図



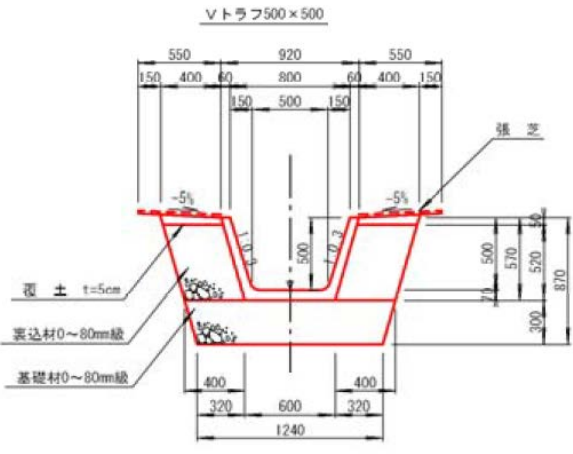
暗渠工標準断面図



集水渠標準断面図



用水路工標準断面図



凡 例	
	用水路
	区画整理
	暗渠排水
	客土
	農用地造成